

# 令和5年度 生徒募集要項

推薦入試 1月16日(月)  
一般入試 1月23日(月)

| 募集定員 | 普通科(男・女)   |      |       | 医療福祉科(男・女)    | 看護学科(男・女) | 備考 |
|------|--|------|-------|---------------|-----------|----|
|      | 特進課程   | 教養課程 | 普通課程  | 40名           | 80名       |    |
| 願書受付 | 令和5年1月5日(水)～1月11日(土)(土・日・祝日を除く)  |      |       |               |           |    |
| 出願書類 | 入学願書・調査書または推薦調査書   |      |       |               |           |    |
| 選考日  | 推薦入試 1月16日(月)  |      |       | 一般入試 1月23日(月) |           |    |
| 選考方法 | 学 科  |      |       | 推 薦 入 試       |           |    |
|      | 普通科  | 特進課程 | 教養課程  | 1 書類審査(全科・課程) |           |    |
|      | 普通科  | 普通課程 | 医療福祉科 | 2 面接(全科・課程)   |           |    |
|      | 看護学科   | 看護学科 | 看護学科  | 面接            |           |    |
| 合格発表 | 推薦入試 1月18日(水)  |      |       | 一般入試 1月30日(月) |           |    |
| 入学手続 | 推薦入試・一般入試とも令和5年1月31日(火)から2月9日(水)16時30分まで。但し普通科(教養・普通課程)の公立高校受験者については、公立高校発表翌日(16時30分)まで延期することができます。<br>※入学金延期が認められるのは普通科(教養・普通課程)の公立高校との併願合格者のみです。 |      |       |               |           |    |

令和5年度生徒募集要項を紹介します。

① 推薦入試  
全科・課程対象。本校第一志望で、所定の推薦条件を満たし、中学校からの推薦を受けたうえで入試です。中学校からの書類と面接のみとなります。

② 一般入試  
全科・課程とも専願もしくは併願で受験できます。特進課程は五教科(国語・数学・英語の各100点と理科・社会の各50点、合計400点満点)、他の科・課程は三教科(国語・数学・英語の各100点、合計300点満点)の学科試験があります。また、医療福祉・看護学科は面接試験もあります。

## 夢をつくる 確かな自分をつくる



発行所  
鹿児島県出水市西出水町  
出水中央高等学校  
TEL 0996-62-0500  
FAX 0996-62-6677  
https://izumi.ac.jp  
admini@izumi.ac.jp

校訓  
「協 調」  
「規 律」  
「勤 労」

## Discover Yourself

学校法人出水学園  
出水中央高等学校  
**秋の体験入学**

夏とは違う体験  
してみませんか?

令和4年 10月9日(日)・16日(日) 10:00～12:30

●お問い合わせは、出水中央高等学校  
(代表) ☎ 0996-62-0500 (URL) https://izumi.ac.jp/opc/  
(広報) ☎ 0996-62-6677 FAX兼用

★高校入試問題に  
対応する学力を  
身につけよう!

★入試まで、どんな勉強  
をすればよいか学習  
方法もアドバイスし  
ます。

**特進 日曜教室開講 後期**

入試問題演習で「わかる」喜び、「解ける」楽しさを体験してみませんか?

11/13日 11/27日 12/11日 12/25日

8:00～8:20 受付  
8:30～9:40 1教科目授業・個別指導  
9:55～11:05 2教科目授業・個別指導  
11:20～12:30 3教科目授業・個別指導

内容 国語・数学・英語の高校入試問題解説と個別指導を実施します。  
受講料 無料 (毎回プリント代等を含む実費¥200のみ徴収いたします。)  
対象生 中学3年生(定員40名)

◎ 入試説明会実施中!

本校の説明を聞きたい生徒さんや保護者の方を対象に、各地の中学校や塾・公共施設等で本校紹介・入試説明会を実施させていただいております。参加をお待ちしております。

※奨学金制度  
看護学科と医療福祉科には病院施設奨学金制度があります。本校指定の奨学病院・施設から入学金と月々の奨学金を受給できる制度で、資格取得後、指定期間勤務すれば返済の必要がありません。

また、普通科(特進課程・教養課程・普通課程)には、学園奨学金制度(※適用人数に制限あり)もあります。これは、本校に推薦・専願入学を希望する生徒で、経済的な援助が必要な生徒に支給が検討されるもので、対象者は、特に人物良好であり、他の模範となる生徒が条件となっています。

更に国から就学支援金を受給できます。いずれの制度も、県の育英会奨学金等と併せて利用できますので、保護者の経済的な負担の軽減に役立っています。

③ 輝くKibaryu

種子島や内之浦の発射場から打ち上げられるロケットは、宇宙という舞台で最先端技術の光を放ちます。その宇宙に広がる一

② キハネ Kibaryu

鹿児島で古くから「全力で頑張る」という意味で使われてきたこの言葉は、明治維新など大きく社会が変わったときも大切にされ、歴史を繋いできました。今でも受け継がれるこの精神を、一人一人がここ鹿児島から発信できるようにキハります。

① 奄美で生まれた大島紬は、自然を想い、人に愛され、多くの時間をかけて心惹かれる模様を織りなしてきました。私たち高校生も、さまざまな芸術文化を掛け合わせ、時代や歴史を彩る「総文祭」という素晴らしい一つの芸術作品をつむぎます。

## 2023かごしま総文祭に向けて

### 本校からも文化の波を届けよう!

第四十七回全国高等学校総合文化祭(総文祭)が、令和5年7月29日(土曜日)から八月四日(金曜日)までの七日間、鹿児島県内の各会場で開催される。

「歴史と伝承に彩られ、宇宙に一番近い鹿児島で、意欲あふれる高校生が集まり、一人一人の思いをつなぐ懸け橋となるような芸術文化活動を展開します。これまで多くの人々がつむいできた芸術文化への情熱を爆発させ、これからの未来をより一層輝かしくものにす文化の祭典を目指します」との大会基本方針の下で掲げられたテーマは三つある。

① 総文祭「tsunabu」

奄美で生まれた大島紬は、自然を想い、人に愛され、多くの時間をかけて心惹かれる模様を織りなしてきました。私たち高校生も、さまざまな芸術文化を掛け合わせ、時代や歴史を彩る「総文祭」という素晴らしい一つの芸術作品をつむぎます。

開催概要は以下の通りである。

- 開会行事  
総合開会式、パレード、国際交流、開催地発表
- 規定部門(19部門)  
演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マナーバンド、バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁将棋、弁論、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、自然科学
- 協賛部門(3部門)  
特別支援学校、茶道、軽音楽

開催まで三〇〇日を切った。本校でも、文科系の部活動や同好会の活動が盛んだ。日々、研さんを重ねている。厳しい審査を通して「かごしま総文祭」で成果を発表できる。本大会を通して「芸術と文化の真髄を究めて全国に向けて発信してみせる」という情熱が、生徒の心の中で培われることを期待したい。



2023 かごしま総文祭 ホームページ

## 紫尾嶺

物心ついた頃から片付けが大好きだった。所持品はすべて自分の決めた場所に常に順番に並べていた。モノを無くしたことはほとんど記憶にない。しかしここ最近、時代の変化とともに若干の違和感を覚えるようになった。これまで自分がやってきた片付けは、日々増えていくモノをきれいに並べていき、黙々と配置換えをしていただけの時間の浪費にすぎなかった。一概には言えないが、コロナを経験した今の時代は、物質的欲求よりも精神的欲求が勝っていると思う。時短や規模縮小を強いられ、何かと制限がかかるコロナ禍。必然的に自分を振り返る時間が生まれたことで、本当に必要なモノは何かを考える機会が増えた。他人の感覚はわからないが、これまでの仕事やプライベートには無駄が多すぎたことに結論としていつも辿り着く。片付けの認識は、散らかった場所をただ整理整頓することだったが、最近は整理整頓の前に必要なモノ以外をほとんど捨てるような心がけている。いるからないモノ、迷うようなモノは、たいてい必要ないモノだとわかった。躊躇なく、しかも大量に捨てる。捨てたことで少しばかり後悔したモノもあるが、世の中が驚くほど便利で、なくても何とかなってしまうような生活をしているモノに、自分が本当に大切にしているモノに自然と意識が傾き、余計な情報に脳を使っていないことに気づいた。モノが少なく整理整頓がとにかく簡単、しかも探す時間がほぼゼロというメリットがあり、疲れが溜まらなくなった。ただでさえ情報量の多すぎる時代だ。現代人が無意識のうちに疲れてしまっている原因として、モノや情報を探す時間の割合は大きい。人間の脳の容量は、大昔からアップデートされていないことは有名な話である。コレクションのな所持品や身につけているモノが自分の価値だと思っていた過去は、必要以上に周囲を気にしていたに過ぎなかった。日々、精神的にも肉体的にも追い込まれて生活を送っていたコロナ禍以前には、そんなことを思い返す余裕もなかった。今は、自分に必要ないモノに気をとられるくらいなら、家族や趣味のために、また職業柄、生徒のためにこれまで以上の時間を費やしたいと思っている。一度、生活を振り返って、自分にとって本当に必要なモノとは何か、ゆとり考えるのも悪くないかもしれない。これからは、効率化できる作業は優秀なAI(人工知能)にでも任せて、時代に合った片付けをしなから生きていきたい。

(片山 涼)

サッカー部

県トップリーグ1部リーグ
4月9日 本校 6-0 鹿児島高専
4月16日 本校 4-3 れいめい高校
4月23日 本校 0-6 鹿児島城西高校
5月1日 本校 1-4 鹿児島ユナイテッド
5月8日 本校 8-1 鹿児島高専2nd
6月5日 本校 3-0 松陽高校
6月25日 本校 3-1 神村2nd
6月29日 本校 0-1 鹿児島実業高校
7月9日 本校 6-0 鹿児島高校
7月16日 本校 4-0 加治木高校

県トップリーグ2部リーグ
4月16日 本校 2-1 尚志館高校
4月24日 本校 3-2 樟南高校
5月7日 本校 2-3 鹿屋中央高校
6月4日 本校 2-4 神村3rd
6月26日 本校 4-0 鹿児島中央高校
7月2日 本校 4-3 鹿児島城西next
7月10日 本校 1-1 鹿児島工業高校
7月16日 本校 2-1 鹿児島南高校

北薩地区春季サッカー大会(5月10-11日)
予選リーグ 本校 2-0 川内商工高校
本校 15-0 出水工業高校
準決勝 本校 0-0(PK2-4) 川内高校
3位決定戦 本校 6-0 川内商工高校

県総体サッカー競技大会(5月22-23日)
1回戦 本校 1-0 鳳凰高校
2回戦 本校 1-6 神村学園

柔道部

北薩地区高等学校柔道大会(春季)(5月11日)

【団体】男子 準優勝 女子 優勝
【個人】男子 66キロ M3 小原 晃朱 ベスト4
73キロ S3 久林 龍矢 3位
100キロ N2 永田平聖吾 優勝
女子 48キロ N1 庵地 小花 優勝
52キロ L3 山本菜々華 優勝
57キロ S2 若下 沙耶 優勝

鹿児島高校総体(柔道競技)(6月1-2日)

【団体】男子 1回戦負け
女子 1対1 鳳凰高校(内容差)
【個人】男子 66キロ M3 小原 晃朱 2回戦敗退
M1 堂園 龍義 初戦敗退
100キロ N2 永田平聖吾 失格
女子 48キロ N1 庵地 小花 初戦敗退
N3 竹田 彩花 初戦敗退
52キロ L3 山本菜々華 棄権
57キロ S2 若下 沙耶 3位
(県ジュニア大会へ選出・九州インターハイ補欠)

九州ジュニア選手権大会(鹿児島予選)(6月5日)

女子57キロ級
S2 若下 沙耶:1回戦敗退(対鹿屋体育大生)

出水市民体育大会(7月3日)

高校生の部 男子優勝 M3 小原 晃朱

駅伝部

日本グランプリシリーズ熊本大会 金葉記念選抜中長距離大会(4月9日 熊本市)

高校男子5,000m 5位 玉目 陸

第1回 県陸上競技記録会(団体予選)(4月16日)

高校・一般男子800m
4位 中村 晃斗 6位 松下 俊海

春季延岡記録会(4月23日 延岡市)

男子1,500m
1位 松下俊海 2位 中村晃斗 3位 飯田翔大
4位 坂田創史 5位 池田結菜 6位 松尾和真

北薩地区陸上競技大会(5月10-11日)

男子1,500m 1位 松下俊海 2位 飯田翔大
男子3,000m 1位 松下俊海 2位 飯田翔大
男子3,000m障害 1位 西川結人 2位 坂田創史

女子800m 1位 住友琴音 2位 藤本亜依
女子1,500m 1位 西本穂乃香 2位 住友琴音
女子3,000m 1位 森 紫乃 2位 西本穂乃香

鹿児島県高等学校陸上競技大会(5月27-30日)

男子1,500m 2位 松下俊海 4位 中村晃斗
男子5,000m 1位 飯田翔大 2位 池田結菜
3位 石丸修那
女子3,000m 6位 西本穂乃香
女子3,000m障害 5位 西川結人

第37回 U20日本陸上競技選手権大会(6月12日 大阪市・長居スタジアム)

U20 3,000m 9位 玉目 陸

全九州高校総体 全国高校陸上九州地区予選大会(6月16-19日 沖縄市・コサ運動公園)

男子1,500m 4位 松下俊海 6位 中村晃斗
男子5,000m 6位 飯田翔大 10位 石丸修那
12位 池田結菜

男子3,000m障害 7位 西川結人
女子3,000m 9位 西本穂乃香

陸上部

第1回 県陸上競技記録会(団体予選)(4月16日)

女子やり投 2位 時任 美咲

北薩地区陸上競技大会(5月10-11日)

女子砲丸投 1位 時任 美咲
女子やり投 1位 時任 美咲

鹿児島県高等学校陸上競技大会(5月27-30日)

女子やり投 3位 時任 美咲

全九州高校総体 全国高校陸上九州地区予選大会(6月16-19日 沖縄市・コサ運動公園)

女子やり投 9位 時任 美咲

放送部

第69回 NHK杯全国高校放送コンテスト 鹿児島県予選大会(6月1-2日)

(アナウンス部門)
S3-1 浦上 結衣 S1-2 横山 文乃
(朗読部門)
S3-1 橋口 和聖 S3-2 岡田 愛世
L2 尾崎 瞳 以上、5名出場 決勝進出者なし

野球部

令和4年度 出水地区春季高校野球大会(5月10-11日)

1回戦 本校 4-3 出水工業高校
決勝戦 本校 13-2 出水 高校 優勝

第64回 NHK旗争奪県選抜高等学校野球大会(5月21-28日)

1回戦 本校 5-4 鹿屋中央高等学校
2回戦 本校 3-2 頤桂高等学校
準々決勝 本校 8-2 国分中央高等学校
準決勝 本校 6-8 神村学園高等学校 ベスト4

令和4年度 春季北薩地区高等学校野球大会(6月7-10日)

1回戦 本校 7-2 川内商工高等学校
2回戦 本校 9-2 出水工業高等学校
決勝戦 本校 2-0 れいめい高等学校 優勝

第104回 全国高等学校野球選手権鹿児島大会(7月2-24日)

1回戦 本校 11-2 出水工業高等学校
2回戦 本校 5-1 尚志館高等学校
3回戦 本校 3-2 樟南高等学校
準々決勝 本校 6-7 大島高等学校 ベスト8

ソフトボール部

第56回 鹿児島県高等学校 女子春季ソフトボール大会(4月23日)

1回戦 本校 2-9 指宿商業高校

令和4年度 北薩地区春季ソフトボール大会(5月10日)

本校 3-9 川内商工高校
本校 6-2 川内高校 準優勝

第74回 鹿児島県高等学校女子ソフトボール大会(5月28-29日)

本校 9-2 奄美高校 本校 0-5 鹿児島女子高校

男子バレーボール部

令和4年度 全九州総合選手権(高校の部)県予選大会(4月16日)

本校 0対2 鹿屋工業

令和4年度 川薩地区春季バレーボール大会(5月9-10日)

本校 0対2 出水工業 本校 0対2 川内
本校 0対2 川内商工 本校 0対2 出水商業
本校 2対0 薩摩中央 本校 2対0 水

女子バレーボール部

令和4年度 全九州総合選手権(高校の部)バレーボール大会(4月16日)

1回戦 本校 2対0 尚志館(棄権)
2回戦 本校 2対0 加治木
3回戦 本校 0対2 鹿児島城西

令和4年度 川薩地区春季バレーボール大会(5月9-10日)

本校 0対2 川内 本校 0対2 川内商工
本校 0対2 出水商業 本校 2対1 野田女子
本校 2対0 川薩清修館

卓球部

会長杯争奪卓球大会(4月24日)

【女子団体A級】Bパート
3-1 鹿児島城西高校A、1-3 鹿児島女子高校A
3-1 鹿児島城西高校C 2勝1敗

令和4年度 北薩地区高等学校春季卓球大会(5月10-11日)

【男子ダブルス】宅間(S2)・能登(S2) 初戦突破ならず
【男子シングルス】宅間、能登 予選リーグ通過ならず
【女子学校対抗】3-1川内 3-0川内商工 3-2川薩清修館
3-0出水商業 4勝0敗 ※優勝

【女子ダブルス】花岡(N1)・白梅(G1) ※優勝
下市(L2)・梶原(L1) 準々決勝進出
宮後(S3)・前田(N3) 初戦突破ならず

【女子シングルス】花岡 ※優勝 白梅 決勝進出 ※準優勝
宮後 準決勝進出 ※3位
前田、下市、児玉(L1)、梶原 予選リーグ通過ならず

第75回鹿児島県高等学校卓球競技大会(5月25-28日)

【男子ダブルス】宅間・能登 初戦突破ならず
【男子シングルス】宅間 初戦突破ならず
能登 2回戦進出

【女子学校対抗】ベスト4→決勝トーナメント進出(1勝2敗) ※第3位

【女子ダブルス】花岡・白梅 4回戦進出 ※ベスト16
宮後・前田 2回戦進出
児玉・梶原 初戦突破ならず

【女子シングルス】花岡 決勝進出 ※準優勝
白梅 4回戦進出
宮後、児玉 3回戦進出
梶原 2回戦進出
前田、下市 初戦突破ならず

弓道部

2022年度 国民体育大会卓球県選手権大会(6月4-5日)

【少年女子】白梅 予選リーグ突破ならず
花岡 予選リーグ 免除
決勝リーグ 6勝1敗
※第1位(栃木県体出場)

第75回全九州高等学校卓球競技大会(6月24-26日)

女子シングルスにて、花岡ならぬ(看護学科基礎課程1年・八代第三中出身)が本校から初出場

第91回全国高等学校卓球選手権大会(8月3-8日)

女子シングルスにて、花岡ならぬ(看護学科基礎課程1年・八代第三中出身)が本校から初出場

活躍する部活動

バドミントン部

北薩地区高等学校春季バドミントン大会(5月10-11日)

【ダブルス(女子)】東・武本:3位
前田・折田、澤田・平野:1回戦敗退

【シングルス(男子)】浦:2回戦敗退 橋ノ口:1回戦敗退

【シングルス(女子)】浦:2回戦敗退 平野:3回戦敗退
橋ノ口:2回戦敗退
【団体(女子)】東・武本・折田・前田・浦元・澤田:2回戦敗退

第57回 鹿児島県高等学校バドミントン競技大会(5月30日-6月4日)

【男子団体】1回戦 出水中央 0-3 国分 ※1回戦敗退

【男子ダブルス】1回戦 橋ノ口・坂元・西平・平野 ※1回戦敗退
浦・中園・柏木・中島

2回戦 浦・三浦・柏木・東 ※2回戦敗退

【男子シングルス】1回戦 宗岡(中央)14-21 中村(加治木工業) ※1回戦敗退
柏木(中央)2-21 蛭原(鹿児島工業) ※2回戦敗退

【女子団体戦】1回戦 対志館高校3-10
2回戦 対武岡台高校0-3

【女子ダブルス】1回戦 東・武本 対 国分中央 ×
前田・折田 対 川辺 ×
土持・大浦 対 大島 ×

【女子シングルス】1回戦 折田 対 指宿商業 × 土持 対 武岡台 ×
武本 対 与論 × 浦元 対 鹿児島工業 ×
前田 対 与論 ×

2回戦 前田 対 尚志館 × 東 対 鹿屋女子 ×

男子バスケットボール部

第77回 南九州四県対抗バスケットボール選手権大会(4月3日)

【2回戦】本校 52-61 加世田 ※2回戦敗退

第75回鹿児島県高等学校バスケットボール競技大会(5月28日)

【2回戦】本校 44-87 樟南 ※2回戦敗退

女子バスケットボール部

第77回 南九州四県対抗バスケットボール選手権大会(4月2日)

【1回戦】本校 38-58 指宿 指宿商業 ※1回戦敗退

第75回鹿児島県高等学校バスケットボール競技大会(5月28-29日)

【1回戦】本校 44-35 指宿 川辺
【2回戦】本校 44-115 鳳凰 ※2回戦敗退

卓球部 インターハイ出場!! 駅伝部

七月二十九日(八月八日)、愛媛県宇和島市で全国高校総体(インターハイ)卓球競技が開催されました。本校からは、花岡ならぬ選手(看護学科基礎課程一年・八代第三中出身)が出場し、全国常連校の選手を相手に一ゲームを奪い、善戦しました。花岡選手は、いちご一会とちぎ団体(十月一日・五日・栃木県鹿沼市)に鹿児島県代表の少年女子の選手として、また全日本卓球選手権大会団体の部(十月十四日・十六日・鹿児島市)に鹿児島県選抜の選手としても出場します。

八月三日(七日・徳島県鳴門市)ボカリスエツスタジアム)で行われた、全国高校総体・陸上競技に一五〇〇m中村晃斗(普通課程三年・鷹巣中)、五〇〇m飯田翔大(教養課程二年・若北中)の二名が出場しました。残念ながら二名とも予選敗退に終わりましたが、二年生で全国大会出場を経験した飯田くんは、「予選敗退は悔しい結果ですが、今後は個人でもチームでも全国入賞ができる力をつけたい」と今後の決意を語ってくれました。



個人戦に臨む花岡さん(N1)

男子5,000mで力走する飯田さん(L2)

吹奏楽部 県吹奏楽コンクールで17回連続金賞

本校吹奏楽部は、令和四年度第六十七回鹿児島県吹奏楽コンクール(高校A)にて「金賞」を獲得しました。「金賞」獲得は、強化部指定の平成十七年から連続になります。令和二年度第六十五回県吹奏楽コンクールは新型コロナウイルス感染症防止のため中止になりました。令和二年度を除いて十七回連続となります。「第六十七回九州吹奏楽コンクール(高等学校の部)」へ出場する県代表三校には入れませんが、今回のコンクールで得た課題などを今後の練習に生かしていきたいと思えます。

今年度のコンクールで、ご声援くださいました多くの皆様、学校関係者、保護者の皆様へ心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

グラウンド整備完了 秋空に映える白い土

少し前までの本校のグラウンドは、大雨が降ると、表面の土が削られ、自然と水路ができていき、東側に設置された側溝に向かって勢いよく泥水が流れ込んでいた。やせ細っていくグラウンド。早急な対策が必要だった。この夏、グラウンドは生まれ変わった。雑草に覆われていた緑(へり)を重機で根元から掘り返し、新たな土が搬入された。グラウンドをおおう白い土が、今日も秋空に映えている。



整備されたグラウンド

生徒と校舎を守る防水板

大型の台風十四号が接近する前に本校では防水板を設置した。台風一過の青空が広がった二十日(火)の朝、校舎を守った防水板を改めて見に行きました。「かまぼこ校舎」といわれる丸い水色の屋根が目印の旧校舎は、本校でも比較的低い土地に建つ。これまで、記録的な大雨に見舞われる度に、床上浸水の被害に遭って来た。二〇二〇年七月、大雨特別警報が発令された。本校を貫くように敷設された市の用水路があふれた。寮生や教職員が力を合わせて、旧校舎や南側校舎の床にしみ込んだ大量の水を拭き取った。そのときも、扉の前に防水板を設置していたが、隙間から浸水を防ぐことは困難だった。用水路の縁をコンクリートで上げた工事は既に行われていたが、それを越えて、さらなる対策として、用水路の側面を取り囲むように板を取り付けた。



用水路に新設された板



旧校舎の設置された防水板

第48回文化祭 SELFIE~ありのままの、一生に残る思い出を~



本校吹奏楽部は、令和四年度第六十七回鹿児島県吹奏楽コンクール(高校A)にて「金賞」を獲得しました。「金賞」獲得は、強化部指定の平成十七年から連続になります。令和二年度第六十五回県吹奏楽コンクールは新型コロナウイルス感染症防止のため中止になりました。令和二年度を除いて十七回連続となります。「第六十七回九州吹奏楽コンクール(高等学校の部)」へ出場する県代表三校には入れませんが、今回のコンクールで得た課題などを今後の練習に生かしていきたいと思えます。

六月四日(十五日)の二日、本校体育館及び各教室において、第四十八回文化祭が行われました。昨年度は生徒のみでの開催でしたが、今年度は五日(日)を保護者などに限定し来校ができるようにしました。その中で各学科・課程で一人一人が主役になる文化祭を目指して多くの感動場面が生まれました。今年のテーマ「SELFIE~ありのままの、一生に残る思い出を~」には、加工などで必要ない、ありのままを全力で楽しむ、一生思い出に残るような文化祭を学校全体で作るという思いを込めて、今年度より、昨年完成したカプテリアでのうどんやカレーの販売も行われ、大盛況となりました。

展示部門
★文化祭大賞
普通科普通課程二年
「よっ!!もぐら学校」
「お遊び処」
「K O I Y A !」
「S 2 1 1」
看護学科基礎課程二年
「とび出せ」
ファンタジーの森」

審査員特別賞
看護学科基礎課程三年一組
劇「シンデレラナース」
看護学科基礎課程三年二組
ダンス
「#チームダンシング」
36人の看護学生の舞」

令和四年度の地区PTAは七月二十二日(金)から七月二十八日(木)までの期間に、人吉・球磨・天草、熊本・宇城、八代の熊本県四地区各会場と本校(出水)会場、また八月五日(金)には沖繩会場でも実施されました。コロナ禍の中で、昨年は中止、今年度はリモートでの開催でしたが、今年は感染予防に努めながら各会場に本校教職員が足を運び、直接保護者の皆様と面談を行うことができました。

通常の開催とは異なり、面談が中心となりましたが、日頃、来校の機会が少ない遠方の保護者の皆様にもお越し頂き、子どもたちの生活の様子や学習状況などを話し合う充実した時間となりました。試行錯誤の中での取り組みでしたが、各ご家庭のご協力が無事に終了することが出来ました。



会場内では消毒の徹底、面談時にはアクリル板を使用しました



会場内では消毒の徹底、面談時にはアクリル板を使用しました